

日本の 住まいの 歩み

会 期

令和2年 10月24日(土)~11月29日(日)

9時30分~17時 (入館は16時30分まで)

休館日:毎週月曜日 (月曜が休日の場合はその翌日)

会 場

たつの市立室津海駅館・室津民俗館

入館料 各 館:高校生以上200円 小中学生100円

共通券:高校生以上300円 小中学生150円

展示解説ツアー

先着20名

日時:11月14日(土) 14:00~15:30

集合:室津海駅館

ワークショップ

先着 各回10名

●民家模型を作ってみるか!

講師 寺本雅男氏 民家模型作家

日時:11月22日(日) 10:00~14:00

内容:ペーパークラフトの民家模型作り

会場:室津海駅館

記念講演会

先着30名

●日本建築の匠

講師 西嶋 靖尚氏 (株)西嶋工務店代表取締役

日時:11月15日(日) 14:00~15:30

内容:匠の技の実演を交えての講演

会場:室津海駅館

※全て参加費無料。

ただし、事前申し込みが必要。

問い合わせ・お申し込みは、
室津海駅館まで。



職人尽歌合図
国立国会図書館デジタルコレクション



法然上人絵伝 弘願本(複製) 浄運寺蔵

連携展示会のご案内

たつの市立埋蔵文化財センター 企画展



『たつのの瓦師』

会 期:10月31日(土)~12月14日(月)

開館時間:9時~17時 (入館は16時30分まで)

会 場:たつの市立埋蔵文化財センター

兵庫県たつの市新宮町室内16番地 TEL:0791-75-5450

休館日:毎週火曜日 (火曜が休日の場合はその翌日)

入館料:無 料

※新型コロナウイルス感染症予防対策を取りながら実施いたしますが、状況により内容を変更する場合があります。

問い合わせ・申し込み

たつの市立室津海駅館

〒671-1332 兵庫県たつの市御津町室津457 TEL:079-324-0595



～ 生活の場の移り変わり ～

古代より瀬戸内海航路の要衝として栄えた室津（たつの市）は、今日でも近世港町の町並みを伝えています。なかでも、江戸時代の豪商「魚屋」と「嶋屋」は、室津の伝統的家屋である「切妻平入本瓦葺2階建」の外観を残し、資料館「民俗館」、「海駅館」として内部公開をしています。本特別展では、このような室津の家屋の歴史的形成過程を紹介します。

日本の伝統的建築はスタイルの面から二つの流れがあります。一つは神社とか寺院のような記念碑的なものです。もう一つは庶民の住まいである家屋です。主に本展で扱うのは後者で、いわゆる民家と呼ばれているものです。民家は、社寺建築のように技術的に優れたものはみられませんが、長い年月をかけて風土に適応し、工夫を凝らしてきた人びとの生活の知恵がにじみ出ています。換言すれば、民家は、単に雨露がしのげればよいという建物ではなく、居住者の生活をさまざまな形で表現しているといえます。

本展は、竪穴住居から近世町家までの歩みをさまざまな資料にて展示します。日本人の生きる知恵、工夫を知っていただき、今後の快適な住生活のヒントになれば幸いです。



民家模型 寺本雅男氏 製作 左:合掌造り(1:100) 中央:角屋造り(1:100) 右:寄棟造り(1:150)

～ 昔の建築道具 ～

職人尽歌合図 部分 国立国会図書館デジタルコレクション



鉋(かんな)
主として材木の表面を
けずって加工する目的で
使われる工具の総称。



鑿(のみ)
木材、石材の加工に用いる
叩きのみと突きのみがある。



墨壺(すみづば)
墨指(すみさし)
材木に直線を引いたり、建築現場で
基準墨となる地墨や腰墨を引くため
に使われる。



大鋸(おが)
動力鋸が導入される以前に使われていた、板を切り出すための
1人用の縦挽き鋸。前挽大鋸(まえばきおが)、木挽鋸(こびきのこ)
とも言う。

鉋(ちょうな)
木材を荒削りしたのち
平らにするのに用いる。

大工道具:(株)西嶋工務店蔵

